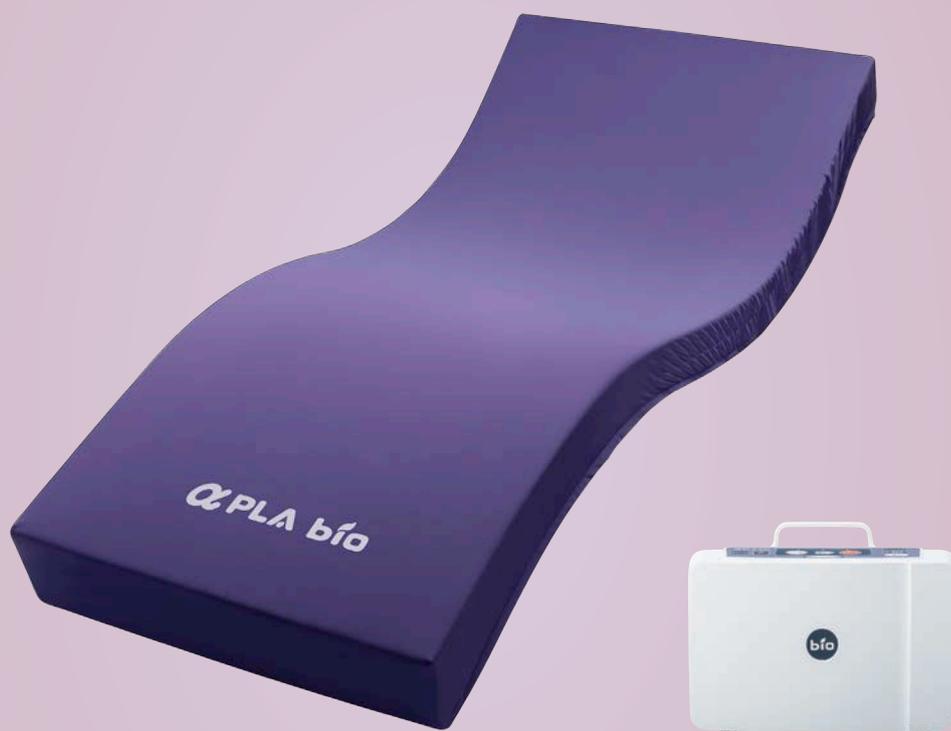


床ずれ防止マットレス / 静止型ハイブリッドマットレス

αPLA[®] bio

アルファプラ ビオ



取扱説明書

PDF ファイル P2～P11

基本操作ガイド

PDF ファイル P12～P13

手動空気注入用バルブの使い方

PDF ファイル P14

アルファプラ ビオ

保証書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、日本国内において取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときには、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記載のない場合は有効となりませんので、必ずご記入の有無をご確認ください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ)以下の部品は保証対象外です。
カバー、ウレタンフォーム、制御部ホルダー
- (ロ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ハ)お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
- (ニ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ホ)故障の原因がこの商品以外の機器による場合。
- (ヘ)本書のご提示がない場合。
- (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売元名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

2.修理補償

同一箇所、同一故障における再修理は、修理完了後3ヶ月間無料にて修理いたします。

3.本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、株式会社タイカにご相談ください。

お買い上げ日	保証期間 (お買い上げ日より)	保証対象の範囲
年 月 日	1年 (対象範囲外は除く)	エアセル、制御部、接続ホース、背上げセンサー、手動空気注入用バルブ
※お客様		
お名前	TEL	
ご住所		
※取扱店		
店名 / 住所 / TEL		

αPLA[®] bio

静止型ハイブリッドマットレス[®]

アルファプラ ビオ



取扱説明書 (保証書付き)

もくじ	
安全上のご注意	2~4
各部のなまえ	5
ご使用の前に	6~7
ご使用方法	8~11
お手入れ	12~15
保管・廃棄方法	15
故障かな?と思ったら	16~17
仕様	18
アフターサービス	19
保証書	20

安全にご使用いただくために

床ずれ防止用として使用する場合は、必ず医師や看護師などの専門職にご相談のうえ、ご使用ください。

- このたびは、「アルファプラ ビオ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の説明

 危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害（家屋・家財）の発生が想定される危害・損害の程度。

図記号の説明

 禁止	 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。  「ぬれ手禁止」  「分解禁止」  「水ぬれ禁止」
	 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。  「一般的な行為」  「電源プラグをコンセントから抜く」

※ お読みになった後は、使用者がいつでも見られるところに、保管してください。

危険

 禁止	心臓マッサージ等の身体に力を加える処置では使用しない。 (力が分散し適切な処置ができない可能性があり事故の原因)
 必ず守る	接続ホース出口部を必ず足側に設置する。 (ホースが頭側にくると、ホースが首にからんで事故を招く原因)

警告

 必ず守る	本機の使用に際しては、必ず医師や看護師などの専門職と相談のうえ使用する。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は、直ちに使用を中止して専門職に相談する。 (症状悪化、事故の原因)
 電源プラグを抜く	動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜く。 (感電、漏電、ショートなどによる火災の原因) お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 (火災、感電の原因)
	電源コードが破損するようなことはしない。(電源コードを傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重い物をのせる、加工するなど) (火災、感電の原因)
	電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。 (感電、ショート、発火の原因)
	子供や、自分で操作を理解できない人には操作させない。また、幼児を近づけない。 (感電、けがの原因)
	子供をマットレスの上で遊ばせない。 (けが、故障の原因)
	電源ボタンを押したのち「寝るランプ」が点灯する前に寝ない。 (症状悪化の原因)
 水ぬれ禁止	水をかけたり、湿気の多い場所で保管したり、使ったりしない。 (感電、火災、故障の原因)
 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 (感電の原因)
 電源プラグを抜く	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 (感電、けがの原因)
 分解禁止	分解、改造、修理をしない。 (火災、感電、けがの原因)

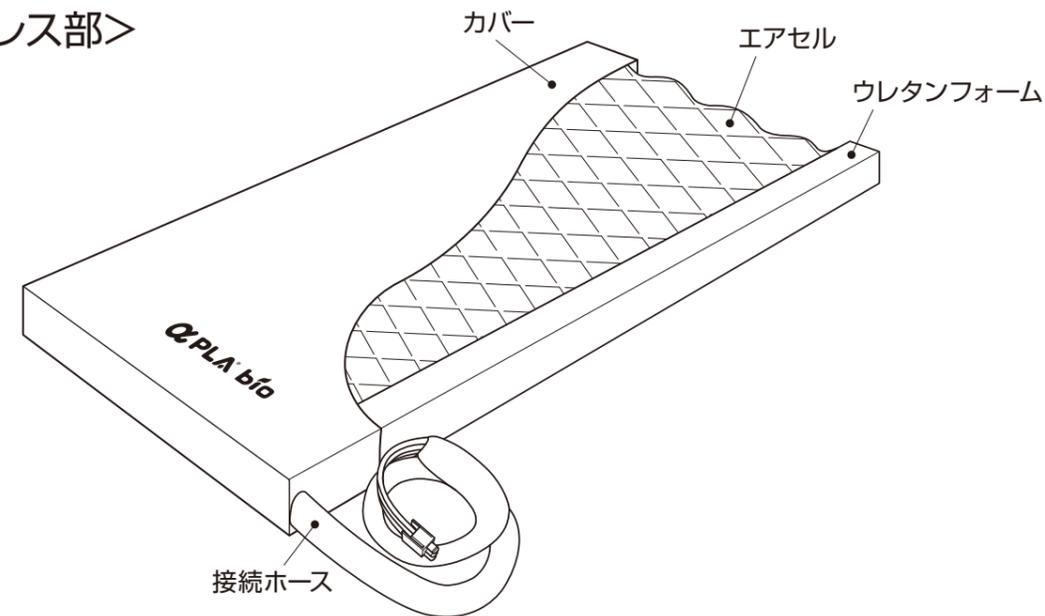
注意

 禁止	カバーが破れて内部が露出したまま使用しない。 (事故、けがの原因)
	マットレスを折りたたんで使用しない。 (事故、故障の原因)
	不安定なベッドやソファ、台の上などでは使用しない。 (事故、故障の原因)

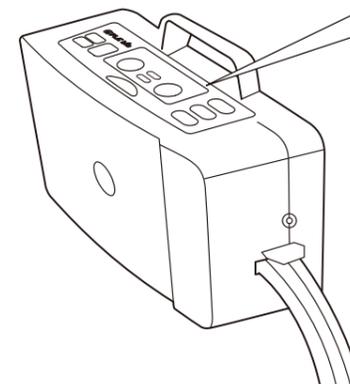
⚠ 注意	
 禁止	電源プラグにピンやゴミを付着させない。(感電、ショート、発火の原因)
	本機のマットレスとポンプ以外の組み合わせでは、絶対に使用しない。(火災、事故、故障の原因)
	本機を使用しながら他のマットレスや電気敷毛布などを同時に使用しない。(症状悪化、事故の原因)
	人や物を乗せて移動しない。(けが、故障の原因)
	ストーブなど火気の近くで使用しない。また、喫煙をしながらの使用はしない。(火災、感電の原因)
	カバーは無理に引っ張ったり刃物やとがった物で突きさしたりしない。(けが、故障、破損の原因)
	ベンジン、シンナー等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。(感電、引火、変形、変色の原因)
	マットレスに、飛び乗ったり、立った状態で使用しない。(転倒によるけがや破損の原因)
	壁などに立てかけて使用しない。(けが、故障の原因)
	接続ホースやコード類は、引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、押しつぶしたりしない。(事故、故障、断線の原因)
 必ず守る	制御部に体重をかけたり、上に物を置かない。(落下・破損・誤作動の原因)
	二人以上で使用しない。(けが、破損の原因)
	エアセルには、高圧コンプレッサーなど付属の制御部以外で急速に空気を入れない。(破損の原因)
	電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。(感電、ショート、発火の原因)
	電源コード、接続ホースは足を引っ掛けないように設置する。(けがの原因)
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。(感電、ショート、発火の原因)
	使用後は電源ボタンを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。(絶縁劣化による感電、漏電火災の原因)
	使用前にエアセル内に空気が入っているか確認し使用する。(症状悪化・事故の原因)
	ベッドにサイドレール・フットボードを取り付ける。(落下・転倒事故の原因)
	制御部をフットボードに取り付ける際は、制御部ホルダーが療養者の足にあたらぬ位置に設置する。(病状悪化・事故の原因)
端座位や移乗する場合、必ず補助の方の立会いのもと行なう。(落下・転倒事故の原因)	
床に置いて使用する場合、ベッド昇降時に制御部を挟まないよう設置する。(破損の原因)	
制御部をフットボードから取り外す際は、無理に力を掛せず丁寧に取り外す。(破損・落下の原因)	

本体

<マットレス部>



<制御部>



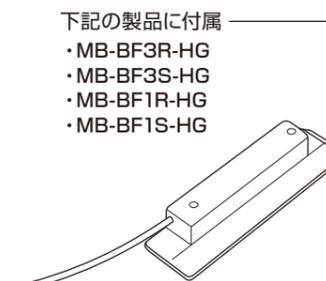
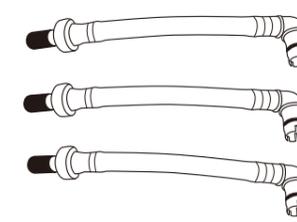
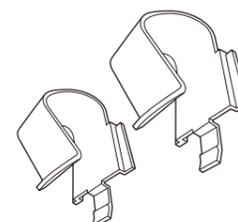
<操作パネル>

※使い方は8ページをご覧ください。



付属品

<制御部ホルダー:2個> <手動空気注入用バルブ:3本> <背上げセンサー>



下記の製品に付属
 ・MB-BF3R-HG
 ・MB-BF3S-HG
 ・MB-BF1R-HG
 ・MB-BF1S-HG

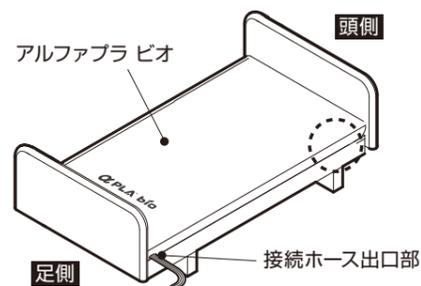
ご使用前に

マットレスの準備

1 マットレスをベッドに設置します。

ベッドに直接、設置します。

※「αPLA bio」とプリントしてある面を表にし、接続ホース出口部が足側になる様に設置してください。



水平で安定した床面（または畳）に設置しても使用できます。

お願い

マットレスの下に他のマットレスまたは敷布団などを敷かないでください。期待した効果が得られなくなります。

注意

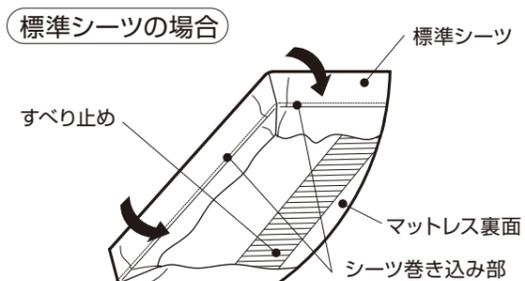
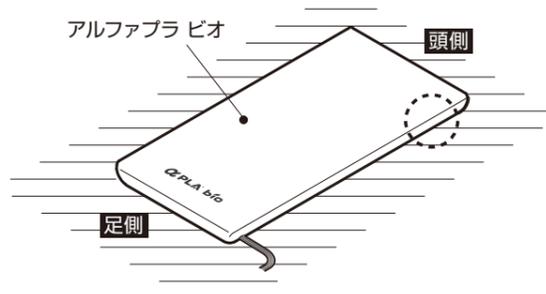
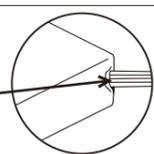
背上げセンサー付きモデルは○部分に背上げセンサーがありますので、上から強い力を加えないでください。（けがの原因）

2 シーツを取り付けます。

- ・標準シーツを取り付ける場合は、シーツの端をマットレス裏面側にゆるめに巻き込んで、取り付けてください。
- ・ボックスシーツの場合は、マットレス全体を包み込むように被せてください。

注意

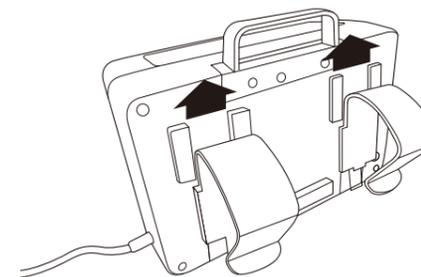
接続ホースが折れたりつぶれない様にする。



制御部の準備

1 付属の制御部ホルダーを取り付けます。

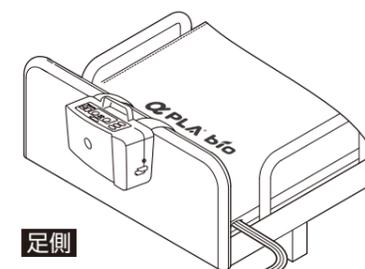
制御部ホルダーを制御部本体に押しつけながら上にスライドさせます。



2 制御部をベッドの足元側のボードに、設置します。

注意

サイドレールには引っ掛けないでください。（ポンプが安定せず落下の原因）

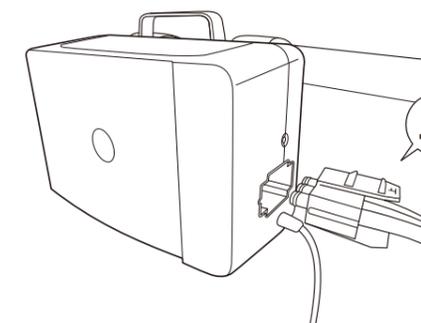


3 接続ホースのジョイントを制御部のジョイント差し込み口にしっかり差し込みます。

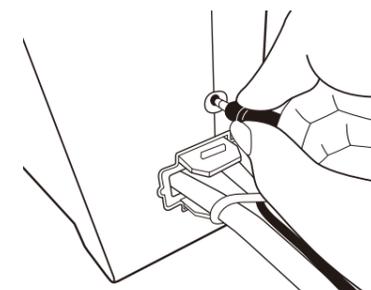
※差し込み口には向きがあります。ジョイントの「上」表示を上方にして、突起を合わせて「カチッ」と音がするまでジョイント差し込み口に差し込んでください。

注意

接続ホースの折曲がり、ベッドの動きによる挟み込みなどがないように配置する。（事故、故障、断線の原因）



4 背上げセンサー付きモデルのみ 背上げセンサーのプラグを制御部のコネクタにしっかり差し込みます。

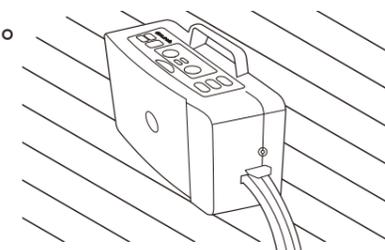


制御部は床に置いて使用することもできます。

※平らな安定した場所に置いてください。

注意

接続ホースの折曲がり、ベッドの動きによる挟み込みなどがないように配置する。（事故、故障、断線の原因）



操作パネルの説明



標準操作 (一般的な設定時に使用します。)

	電源ボタン 電源ON・OFFを切り替えるボタンです。
	体圧分散スタートボタン 体圧分散を開始するボタンです。
	準備中ランプ 初期設定値に達するまで点滅を繰り返します。
	寝るランプ 初期設定値に達し、準備が整ったら点灯します。
	動作確認ランプ 動作状態を表すランプです。正常運転中は緑色に点灯します。

オプション操作 (追加で設定や操作が必要な場合に使用します。)

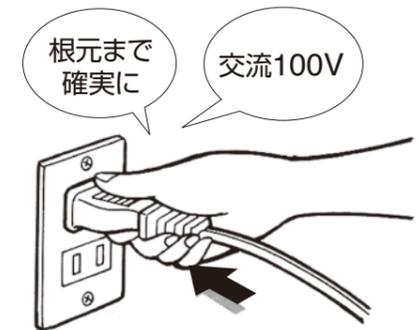
	ひざ拘縮ボタン ひざに拘縮がある療養者に使用するモードです。
	横向き側臥位ボタン 横向き(90°側臥位)で使用する場合のモードです。

その他

	ブザー消ボタン 異常発生時のブザー音を消す際に使用します。
	ライト消ボタン 「動作確認ランプ」を消灯する際に使用します。
	設定リセットボタン 療養者が替わるなどで、設定をリセットする際に使用します。
	背上げボタン ベッドの背上げをする際に使用するボタンです。背上げセンサー使用時は、背上げを感知すると点灯します。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告 交流100V以外では使用しない。
(火災、感電の原因)



2 制御部の操作パネルを操作する

・基本的な操作方法

1 	1の「電源ボタン」を押すと「電源ボタン」のランプが点灯し、空気が送り込まれ、2の「準備中ランプ」が点滅します。 警告 2「寝るランプ」が点灯するまで、寝ないでください。	
2 	2の「寝るランプ」が点灯したら、療養者を寝かせます。	
3 	3の「体圧分散スタートボタン」を押すと、体重が自動で計測され体圧分散がスタートします。(「動作確認ランプ」が緑色に点灯) ※使用できる療養者の体重は20~120kgの範囲になります。正確に計測できない場合がありますので「体圧分散スタートボタン」を押した後は、30秒以上安静にしてください。 ※メモリー機能付きなので、一度体重が記憶されれば、次回からは寝るだけで体圧分散が自動で行われます。	

注意

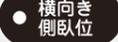
療養者が誤って設定ボタンを押して、設定が切り替わっている場合があるかもしれませんので、定期的にモードを確認してください。

警告

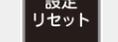
ホースが足側にくるように寝かせてください。
(ホースが首にからんで事故を招く原因)

ご使用方法

・寝姿勢による補助機能の操作方法

	ひざに拘縮がある療養者に使用する際は、 長押し してください。	
	横向き側臥位(90°側臥位)の療養者に使用する際は、 長押し してください。	
	ベッドの背上げをする際は、 長押し してください。 (背上げセンサー付モデルMB-BF-HGは、自動で背上げを感知しますので、ボタン操作はできません。)	

・オプション機能の操作方法

	異常発生時のアラーム音を消す際は、 押し してください。
	「動作確認ランプ」を消灯する際は、 押し してください。
	療養者が替わった時など、設定体重をリセットする際は、 長押し してください。ランプが点滅し電源が切れます。

3 停止する

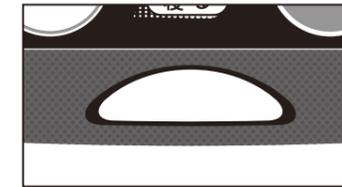
	長押しすると、動作が停止しランプが消灯します。 「メモリー機能」について 再度「電源ボタン」をONにした場合または、電源プラグをコンセントから抜いた場合は、直前の設定で動作します。	
---	---	---

4 療養者が替わる場合

	長押しして設定をリセットした後、9ページ ② からやり直してください。
---	-------------------------------------

使用中に「動作確認ランプ」が赤色点灯または点滅する場合

エア圧力が設定圧力に達しない、または設定圧力以上になるなどの、異常が発生した場合、「動作確認ランプ」が赤色で点灯または点滅し、アラーム音が鳴ります。点灯の場合は動作を自動停止します。



「動作確認ランプ」
赤色点灯または点滅

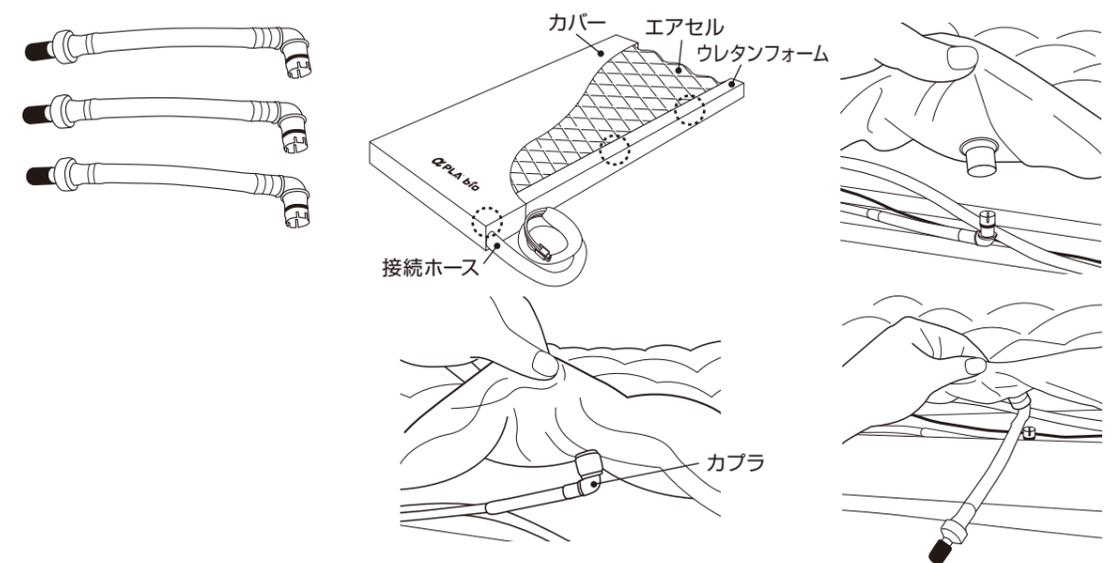
16ページの「故障かな?と思ったら」の点検項目を確認してください。点検後エラーの解除を行なうと「動作確認ランプ」が緑色(正常)に点灯し、アラーム音が消音し動作を再開します。

それでも再度点灯または点滅する場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

長期間の停電の場合

一週間程度の停電でしたら、そのまま使用できます。それ以上の停電で、エアセル内の空気が抜けた場合は、「手動空気注入用バルブ」を取付け空気を注入することができます。

- ①「手動空気注入用バルブ」を袋から取り出します。
- ②カバーをはずすと、下図○部付近(3か所)のエアセル裏面にカバーがあります。
- ③カバーを取り外し、袋から取り出した「手動空気注入用バルブ」を、「カチッ」と感触があるまで押し込みます。



- ④黒いキャップを取り外し、空気を入れます。
- ⑤エアセルとウレタンフォームの間に手を差し込み、療養者の身体との間に指一本分入る程度の空間ができたなら、黒いキャップを再び取り付け、ウレタンフォームの溝に収め、カバーを掛けてください。



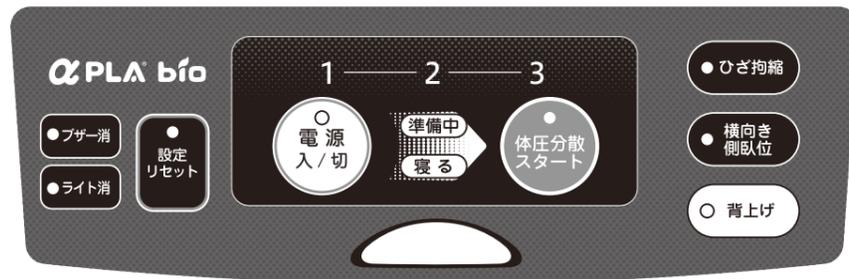
動作の確認

ご使用中は、必ず1週間に1度は動作確認をしてください。

※設置場所を変えたり停電など一時的に動作が停止した場合も確認をしてください。

① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

② 操作パネルの表示を確認します。



① 全ての「表示ランプ」が消えていませんか？
※コンセントが抜けていると点灯しません。



コンセントの差し込みを確認し、「電源」ボタンをONにして再度設定してください。

② 使用者が寝ている時、「動作確認ランプ」が消灯していませんか？



体圧分散が行われていませんので、最初から設定し直してください。

③ 「表示ランプ」は適切ですか？
※使用者が誤って設定ボタンを押して、設定が切り替わっている場合があるかもしれません。



再度設定してください。(設定モードについては8ページを確認してください。)

④ 「動作確認ランプ」が、赤色に点灯または点滅していませんか？



点灯または点滅してる場合は、16ページの「故障かな?と思ったら」の点検項目を確認してください。



それでも動作しない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

お手入れ

お手入れをはじめる前に

① 「電源」ボタンを長押しして、使用を停止します。「電源ボタン」のランプが消灯します。

② 電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
(感電、ショート、発火の原因)

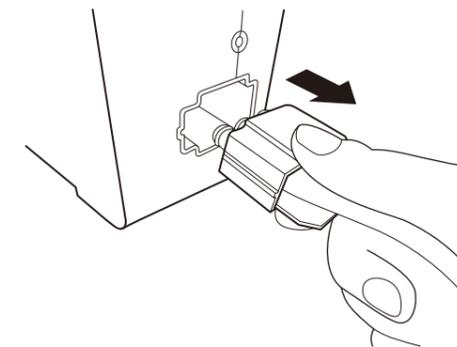
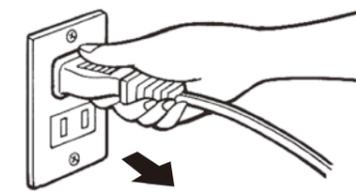
③ 接続ホースのジョイントをポンプのジョイント差し込み口から矢印方向に引き抜きます。

※ジョイント部を持って引き抜いてください。



注意

ホース部分を持って引き抜かない。
(破損、故障の原因)



※背上げセンサー付きモデルは、センサーのプラグを抜いてください。

カバーのお手入れ

① マットレス側面のファスナーを開いて、カバーをはずします。

② カバーを水またはぬるま湯で洗濯します。

汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で洗濯してください。

※洗濯後、洗剤が残らないようにすすいでください。

洗濯マーク



③ 陰干して自然乾燥させます。

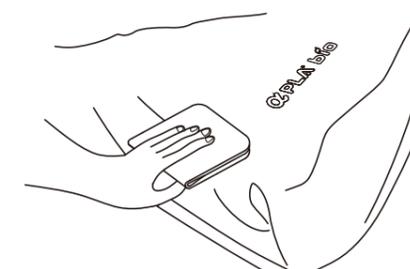
お願い

※ドライクリーニング、乾燥機は生地を傷めますので使用しないでください。

※タンブラー*での乾燥、スチームアイロン、スチームプレスは生地を傷めるおそれがありますので避けてください。

*タンブラー：大きなドラムの中で攪拌しながら乾燥すること。

日常のお手入れ

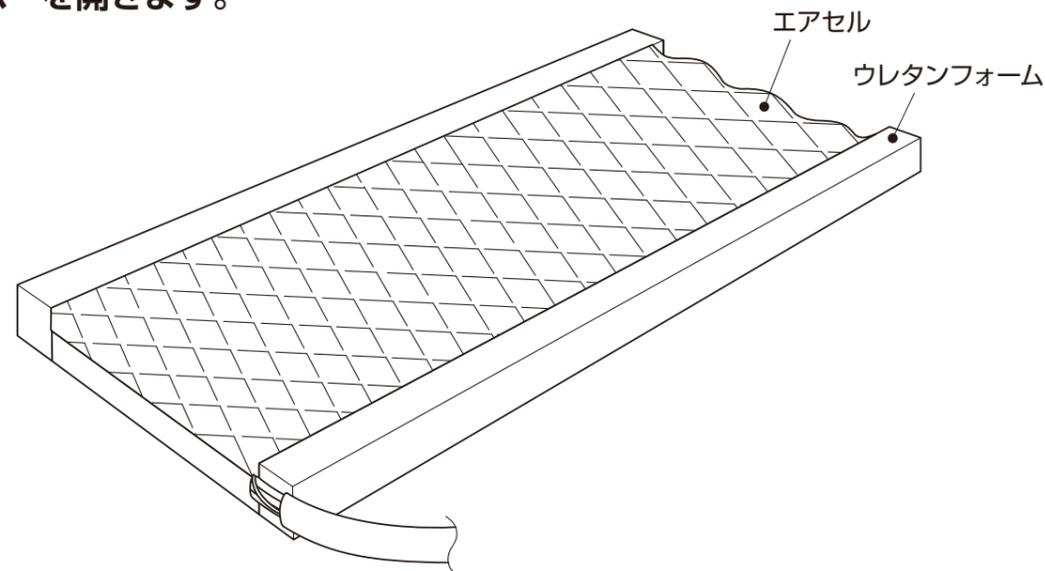


カバーは、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

お手入れ

マットレスのお手入れ

① カバーを開きます。

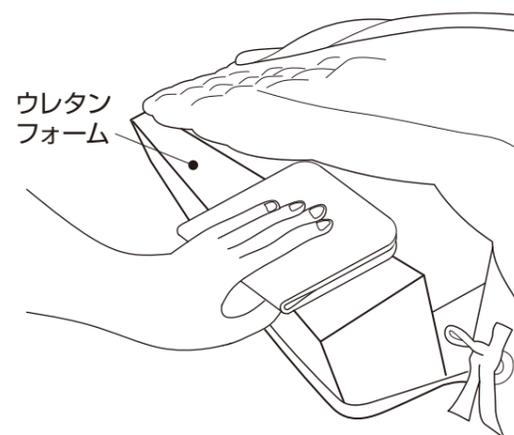
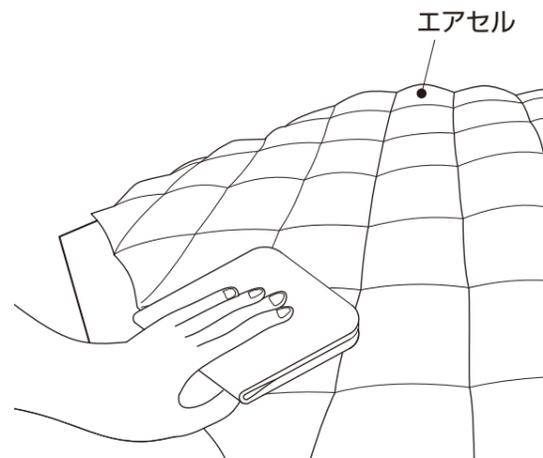


② エアセル、ウレタンフォームは、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふき取った後、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

※エアセル、ウレタンフォームは、素材の特性上長期使用すると、黄色く変色することがありますが機能的には支障ありません。

※有機溶剤（ベンジン・シンナー等）を使用すると表面が劣化しますので、使用しないでください。



⚠ 注意

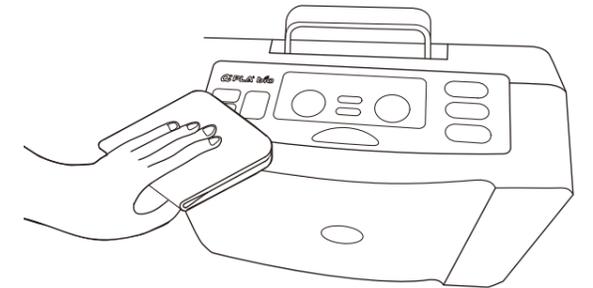
エアセル内のホースは取りはずさない。
(接続部が破損する原因)

制御部のお手入れ

制御部は水を含ませて固く絞った布で、表面の汚れをふき取ります。

汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布でふき取った後、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

※有機溶剤（ベンジン・シンナー等）を使用すると表面が劣化しますので、使用しないでください。



保管・廃棄方法

保管方法

「お手入れ」の要領で汚れやほこりを取り除き、安定したところに保管してください。

お願い

湿気の少ないところに保管してください。

⚠ 注意

直射日光の当たるところ、ストーブの近くなど、直接高温になるところは避ける。
(生地の変色、変質の原因)

乗ったり、腰掛けたりしない。
(破損、故障の原因)

上に重い物を乗せない。
(破損、故障の原因)

小さな子供の手の届くところに置かない。
(事故、けがの原因)

接続ホースやコード類は折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、押しつぶしたりしない。
(事故、故障、断線の原因)

廃棄方法

廃棄に際しては、お住まいの地域の条例などゴミ捨てのルールに従って処理してください。

故障かな?と思ったら

症状	点検項目	処置
①動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか? ●「電源ボタン」がOFFになっていませんか? ●「動作確認ランプ」が、赤色点灯または点滅していませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ☑電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ☑「電源ボタン」をONにしてください。 ☑②または③を確認してください。
②「動作確認ランプ」が、赤色点滅した。	<ul style="list-style-type: none"> ●「体圧分散スタートボタン」を押した後、30秒以上安静にしていたりませんか? ●背上げセンサーのコードが断線していませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ☑「設定リセットボタン」を長押しして最初からやりなおしてください。(9ページ②を参照) △注意:エラー解除の操作でも復帰しますが、最適な体圧分散性能を発揮することができません。 ☑修理を依頼してください。
③「動作確認ランプ」が、赤色点灯し動作を停止した。 (圧力が設定圧力に達しない場合、または設定圧力以上になった等の異常が発生した場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●接続ホースが外れていませんか? ●接続ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしていませんか? ●接続ホースのジョイントが確実に挿入されていますか? ●エアセルが破損していませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ☑接続ホースを制御部にしっかりと差し込んでください。 ☑折れ曲がり、ねじれないように設置してください。 ☑接続ホースのジョイント差し込み口の向きを確かめ確実に挿入してください。 ☑カバーを開き、エアセルを触って空気が入っているか確認してください。
④②または③の処理をしても「動作確認ランプ」が緑色(正常)に戻らない。	●②または③の処置にもれはありませんか?	☑再度②または③の点検をしてください。
⑤寝心地が異常に硬い、または異常に柔らかい。	●各種の設定は適切ですか?	☑専門職にご相談のうえ最適な状態に設定しなおしてください。
⑥「設定ボタン」の操作ができない。		☑「電源ボタン」をOFFにして再度ONにしてください。

点検後、エラーを解除すれば動作を再開します。
エラーの解除方法はページ下部の●エラーの解除方法をご覧ください。

●エラーの解除方法

- ブザー消
 - ライト消
- 「ブザー消ボタン」と「ライト消ボタン」を同時に3秒間長押しすると、エラーが解除され動作を再開します。(「動作確認ランプ」は緑色(正常)に点灯し、エラー音が消音します。)
- ※エラーリセット後に「ブザー消ボタン」と「ライト消ボタン」のランプが点灯している場合は、ボタンを押して元の状態に戻してください。

症状	点検項目	処置
⑦音が異常に大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●制御部の上に物が乗っていませんか? ●制御部が他の物に触れていませんか? ●制御部が水平にまたは、ホルダーに固定して設置されていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> ☑物を取り除いてください。 ☑触れない位置に再度設置するか、物を取り除いてください。 ☑水平に設置するか、ホルダーに確実に固定してください。
⑧「表示ランプ」が点灯したり消えたりする。	●電源コードが断線していませんか?	☑直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
⑨背上げをしても(30°以上)、「背上げボタン」のランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●背上げセンサーのプラグが外れていませんか? ●背上げセンサーが外れていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ☑制御部本体に差し込んだプラグを「カチッ」と感触があるまで差し込んでください。 ☑背上げセンサーを所定の位置に取り付けてください。
⑩背上げを戻しても(10°以下)、「背上げボタン」のランプが消灯しない。	●背上げセンサーが外れていませんか?	☑背上げセンサーを所定の位置に取り付けてください。
⑪エアセルの表面の一部や端部が極端に凸凹している。	●エアセルを固定しているひもがはずれていませんか?	☑カバーを開き、エアセルを固定しているひもを結び直してください。



以上の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

長年ご使用のマットレスの点検を!

こんな症状はありませんか?	ご使用中
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが異常に熱くなる。 ●本体が変形していたり、こげくさい。 ●その他の異常、故障がある。 	故障や事故防止のため、電源ボタンを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にご相談ください。

マットレス部

型番	MB-BF3R	MB-BF3S	MB-BF1R	MB-BF1S	MB-BF3R-HG	MB-BF3S-HG	MB-BF1R-HG	MB-BF1S-HG
サイズ (cm)	幅83 ×長191 ×厚13	幅83 ×長180 ×厚13	幅91 ×長191 ×厚13	幅91 ×長180 ×厚13	幅83 ×長191 ×厚13	幅83 ×長180 ×厚13	幅91 ×長191 ×厚13	幅91 ×長180 ×厚13
質量 (kg)	8.2	7.9	8.5	8.3	8.3	8	8.6	8.4
材質	エアセル	ポリウレタンフィルム						
	ウレタンフォーム	ポリウレタンフォーム						
	カバー	[上面]表地:ポリウレタンフィルム 裏地:ポリエステル 制菌・防炎加工 [下面]ポリエステル65%綿35% 撥水・抗菌・防カビ加工						
	背上げセンサー	ABS樹脂						

制御部

型番	MB-B-P
サイズ (cm)	幅26×奥行11×高20
質量 (kg)	2.1
材質	ケース:ABS樹脂 フォルダー:POM樹脂
その他	電源:AC100V 50Hz/60Hz 消費電力:14W 電源コード長さ:約4m

※サイズ及び質量は目安の数値です。

修理を依頼されるときは

16ページの「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、直らなかった場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば機能が維持できる場合には、ご希望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 補修用性能部品は製造打ち切り後、5年間保有しています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

PLA bio アルファプラ ビオ

基本操作ガイド

●この操作ガイドを制御部に取り付けてください



ひざに拘縮がある療養者に使用する際は、**長押し**してください。

横向き側臥位(90°側臥位)の療養者に使用する際は、**長押し**してください。

ベッドの背上げをする際は、**長押し**してください。
※背上げセンサー付モデルは、自動で背上げを感知しますので、ボタン操作はできません。

1

●電源入/切

「1」を押すと、空気が送り込まれます。

2

●準備中 寝る

「2」の「寝る」ランプが点灯したら、療養者を寝かせます。

3

●体圧分散スタート

「3」を押すと、体重が自動で計測され体圧分散がスタートします。

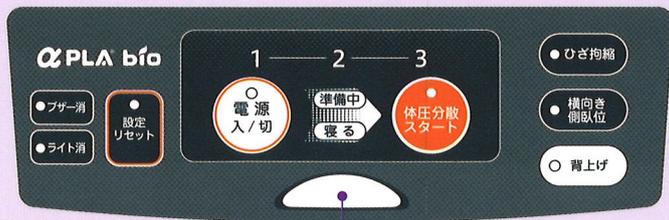
メモリ機能付きなので、一度体重が記憶されれば、次回からは寝るだけで体圧分散が自動で行われます。

⚠ 警告

●準備中 が点滅中は、寝ないでください。

●体圧分散スタート は、療養者が寝る前に押さないでください。

操作パネルの説明



- **プザー消** 異常発生時のアラーム音を消す際は、押してください。
- **ライト消** 「動作確認ランプ」を消灯する際は、押してください。
- **設定リセット** 療養者が変わった時など、設定体重をリセットする際は、長押ししてください。ランプが点滅し電源が切れます。

動作確認ランプ

● 正常動作中は、**緑色**  に点灯します。

動作確認ランプの状態	点検のポイント	対処方法
 「動作確認ランプ」が、 赤色点滅 した。	「体圧分散スタートボタン」を押した後、30秒以上安静にしていたら？ 背上げセンサーのコードが断線していませんか？	「設定リセットボタン」を長押しして最初から操作をやりなおしてください。 修理を依頼してください。
 「動作確認ランプ」が 赤色点灯し動作を停止 した。	接続ホースが外れていませんか？ 接続ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしていませんか？ 接続ホースのジョイントが確実に挿入されていますか？ エアセルが破損していませんか？	接続ホースを制御部にしっかりと差し込んでください。 折れ曲がりや、ねじれのないように設置してください。 接続ホースのジョイント差し込み口の向きを確かめ確実に挿入してください。 カバーを開き、エアセルを触って空気が入っているか確認してください。
※圧力が設定圧力に達しない場合、または設定圧力以上になった等の異常が発生した場合		点検後、エラーを解除すれば動作を再開します。 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> エラーの解除方法 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ●プザー消 + ●ライト消 </div> 「プザー消」と「ライト消」を同時に3秒間長押しすると、エラーが解除され動作を再開します。

停電時の場合

停電の際は、動作を停止しますが、接続ホースのジョイントを外さなければ、1週間程度マットレスの内圧を保持します。

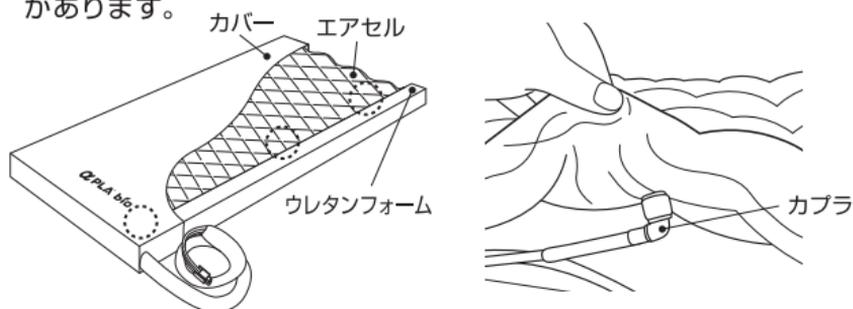
手動空気注入用バルブの使い方

一週間程度の停電でしたら、そのまま使用できます。
それ以上の停電で、エアセル内の空気が抜けた場合は、
「手動空気注入用バルブ」を取付け空気を注入することができます。

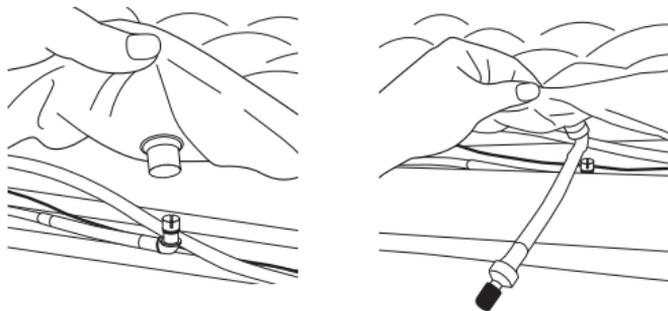
- ① 「手動空気注入用バルブ」を袋から取り出します。



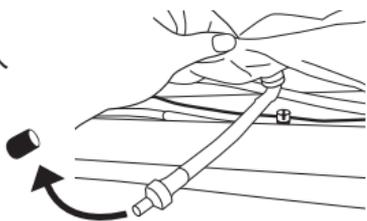
- ② カバーをはずすと、下図○部付近(3か所)のエアセル裏面にカブラがあります。



- ③ カブラを取り外し、袋から取り出した「手動空気注入用バルブ」を、「カチッ」と感触があるまで押し込みます。



- ④ 黒いキャップを取り外し、空気を入れます。



- ⑤ エアセルとウレタンフォームの間に手を差し込み、療養者の身体との間に指一本分入る程度の空間ができたなら、黒いキャップを再び取り付け、ウレタンフォームの溝に収め、カバーを掛けてください。

